

2 歳児

子どもと暮らす



ひとりでできるよ!

- 体を動かす遊びが大好きです。登ったり、降りたり、走ったり、跳んだり、たくさん経験させましょう。何にでも興味がいっぱい、目が離せない時期です。危険な行動は「〇〇すると危ないよ」と、理由もそえて言葉で教えてあげてください。
- 「丸める」「つまむ」「めくる」「破る」などを繰り返して遊び、指先が発達してきます。指先が発達すると、食事や衣服の着脱、トイレなど、自分でできることが増え、「自分のことは自分で」という意欲にもつながっていきます。
- 自分がしたいこと、して欲しいことを言葉で言えるようになってきます。先取りせず、子どもの話をよく聞いてあげましょう。
- 生活の中で見たり聞いたり経験したことを遊びにします。ままごと・レストランごっこ・電車ごっこなど繰り返し遊び、言葉を盛んに使うようになります。また、身近な大人や友達とのやり取りが増えてきます。



自分でやりたい~い

- 身の回りのことを自分からやろうとする気持ちがぐんと高まります。でも、思い通りにならないと怒ってしまうというような扱いにくさも出てきます。しつけの基本を始めていく時期です。
- 大人が意識して、早寝・早起きなどの生活リズムを作りましょう。
- 身の回りの簡単なことを手伝ってもらいながら、自分でできるようになります。でも、時には「やって」と甘えてくることもあります。行きつ戻りつしながら成長していきます。



スプーンを持って自分で食べようとしてますが、手づかみやこぼす姿も多く見られます。しつたりせずに、手伝ってあげたり、上手に食べられた時には誉めたりしてあげましょう。



個人差はありますが、トイレトレーニングを始める頃です。トイレでオシッコが出る回数が増えてきたら、布パンツにしてみましょう。失敗してもあせらずにすすめていくことが大切です。



自分でやろうとする姿を見守り、できない時にはさりげなく手伝い、自分でできたという満足感を味わえるようにしましょう。

- 生活の中の簡単な決まりがわかってきます。周りにいる大人が良い悪いをきちんと教えていきましょう。



やだ! やだ!

- 自我が強くなり「自分で」「やだ」などが多くなり、思い通りにいかないと泣いたり、かんしゃくをおこしたりする姿が見られるようになってきます。こうした気持ちを受け止めながらも、「これだけはダメ」という時には、いけないことをきちんと知らせましょう。自分の行動のすべてが受け入れられるわけではないことに徐々に気づいていきます。

